

安全データシート

SAFTY DATA SHEET

1. 化学品及び会社情報

商品名	REプラスチック剤(REP70)
会社名	株式会社 レックス
住所	岐阜県瑞穂市野白新田55-1
電話番号	058(326)7166
FAX番号	058(326)7165
作成・改定	2016年06月13日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的危険性

引火性液体 区分2

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
皮膚腐食性・刺激性	区分1A
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
生殖毒性	区分1B
吸引性呼吸器有害性	区分1
特定標的臓器 全身毒性(単回暴露)	区分1(中枢神経系、全身毒性)
特定標的臓器 全身毒性(反復暴露)	区分1(中枢神経系、視覚器)



注意喚起

危険有害性情報

- ・引火性の高い液体及び蒸気
- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・飲み込むと有害
- ・飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れ
- ・生殖能又は胎児への悪影響の恐れ
- ・臓器(中枢神経、全身毒性、視覚器)の障害
- ・長期又は反復暴露による臓器(中枢神経、視覚器)の障害

注意書き

＜安全対策＞

熱、火気、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。

容器を密閉しておくこと。

静電気放電や火花による引火を防止すること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

蒸気、ミストなどを吸入しないこと。

この製品を取扱中に飲食や喫煙をしないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。

取扱後はよく洗うこと。

＜応急処置＞

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせず医師の診断を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を流水で洗うこと。

眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。

何れも気分が悪いとき、回復しないときは直ちに医師の診察を受けること。

＜保管＞

密閉した状態で換気のよい場所で、直射日光や高温多湿の環境を避け冷暗所に保管すること。

子供の手の届かないところに保管すること。

＜廃棄＞

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に業務を委託する。

(注)上記以外の項目は「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	CAS No	官報公示整理番号	濃度または濃度範囲
石油系炭化水素	非公開	非公開	20～30
ポリジメチルシロキサン	非公開	非公開	1～10
シラン化合物	非公開	非公開	50～60
メタノール(不純物)	67-56-1	(2)-201	1～10
リン酸	7664-38-2	(1)-422	1～10

他

4. 応急処置

吸入した場合

- ・気分が悪くなった場合は喚起のよい部屋で寝させ、場合により医師の手当てをうける。

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、場合によっては医師の手当てを受け

目に入った場合

- ・直ちに流水で15分以上洗眼し、場合により医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

- ・吐かせずに速やかに医師の手当てを受ける。

応急処置をする者の保護医師に

- ・救護者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

対する特別な注意事項

- ・症状に応じて処置すること。

5. 火災時の処置

消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

- ・ 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤
- ・ 水
- ・ 加熱分解されると分解して、腐食性及びまたは毒性の煙霧を発生させる恐れがある

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法・機材

二次災害の防止策

- ・ 眼、皮膚に直接触れないように適切な保護具を着用する。
- ・ 漏出した周辺は「立入禁止」とし、河川への流出等周辺へ拡張を防止する。
- ・ 全ての着火源を取り除く。可燃物を流出物から遠ざける。
- ・ 布等の吸収剤で拭き取る。再使用不可。
- ・ 回収した漏出物は「廃棄上注意」に従い廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

局所排気・全体換気

注意事項

安全取り扱い注意事項

保管

適切な保管条件

- ・ 眼、皮膚に直接ふれないように適切な保護具を着用する。
- ・ 適切な喚起を行う。
- ・ 火気の近い場所に置かない。
- ・ 水に濡らさない。
- ・ 防爆の局所換気装置を設置する。
- ・ 飲み込むと有害である。
- ・ 目、鼻、口へ入らないように適切な保護具を着用する。
- ・ 使用する容器等はガラス製の材質を選ぶ。
- ・ 酸、アルカリ、脱塩素材(チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ)その他可燃物と直接触れさせない。
- ・ 容器を密閉し、水、湿気、直射日光を避け、冷暗所に保管
- ・ 火気、摩擦、衝撃を避ける。
- ・ 水、酸、アルカリ、他の塩素剤、還元剤、油脂及びその他の可燃物に接触させない。
- ・ 子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

管理濃度

保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚及び身体の保護具

- ・ 発生源の密閉化
- ・ 局所または全体換気を施す。
- ・ 200ppm(メタノール)
- ・ 保護マスク
- ・ ゴム手袋
- ・ 保護メガネ
- ・ 長袖の作業服

9. 物理的及び化学的性質

外観

臭い

引火点

比重(相対密度)

- ・ 無色透明液体
- ・ 特異臭
- ・ 3°C(シラン化合物)
- ・ 0.92±0.05g/cm³

